

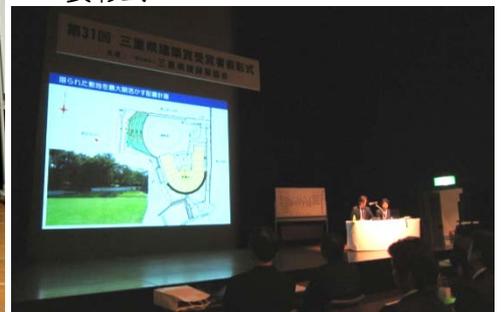
第31回三重県建築賞 濱口賞を受賞しました

6月26日(火) 三重県文化会館 小ホールにおいて第31回三重県建築賞表彰式が行われました。

この賞は、地域社会の発展に寄与し、かつ優秀な建築作品に対して その成績を讃へ表彰されるもので一般部門では作品総数 22 点の中、「亀山市立亀山東幼稚園」が小さくてもすばらしい作品として「濱口賞」を受賞しました。



表彰式



プレゼンテーションの様子



工事概要

建築主	亀山市
所在地	三重県亀山市本町地内
設計・監理	藤川設計株式会社
施工者	堀田建設株式会社

第31回(2011年度)三重県建築賞入賞作品
審査委員長 富岡義人様から
—講評—

一般部門

【賓口賞】 亀山市立亀山東幼稚園

亀山市の東方、小高い丘の上の学園地区に建つ市立の幼稚園である。旧園舎を利用しながらの現地建て替えによる建設プロジェクトであった。隣接する山を一部造成することにより新たな用地をつくり出し、園庭に向かって両腕を広げ、玄関前の広場を抱え込んでいるかのようなU字型の配置が生み出された。

構造は木造。玄関上部を中心にして放射状に広がる大断面集成材によるアーチが3つの保育室を飛び越える。その外側にはデッキテラスが巡り、眼下の町並みを眺めやる豊かな開放感が生み出されている。皆がひとつ屋根の下に集うという求心性の表現は、ともすると強迫的に凝り固まることにつながりがちだが、この開放感による遠心力のおかげで、適度なバランスを獲得していると言えるだろう。互いに18度ずつ角度をなす集成材軸組の接合部は、施工管理のまさに要である。許容誤差 2mm で管理された軸組は、どこを見ても的確かつ正確な仕上がりで、施工者の技術的熟練を物語っている。

この建築は、そのかたちの中に様々な意味を内蔵している。先ほどの「ひとつ屋根の下」という表現のほかにも、子供たちを両腕でしっかりと抱きかかえる仕草、しっかりと手をつなぎ合う子供たちの輪、廊下のそこそこに作られたニッチのなかに見いだす自分だけの隠れ場所、あぶくのように次々に広がる園庭の空間とそれを見下ろす観客席、そしてそこからさらに広がっていく小学校や高校、そして眼下に広がる街の社会、建物全体のかたちを一輪の花に見立てるなら、風に乗って街へと飛び立っていく花びらたちの姿……。このような様々な意味が織りなす世界の中で、子供たちは生活し成長するのだ。

そこでの生活は決して押し付けがましい命令口調のものではない。むしろもっと自然体のものであるはずだ。夕方迎えに来た親御さんは、きっと両腕で我が子を慈しむことになるのだろうし、運動会では子供たちが玄関前庭から半円形のゲートをくぐって登場し、皆の喝采を受けるのだろうし、卒園式の日には思い出の場所場所で、様々な記念写真が撮られるのだろう。きっと自然にそうなるはずなのだ。建築に刻印された仕草が人間の行動に移り、子供たちも親御さんも先生方も、知らず知らずのうちにその台本を演じていくことになる。そのような建築の力が、この作品には確かに備わっている。